

すくも
自主防災会だより
第6号

地域防災力づくりに寄せて

自主防災組織それぞれの活動ぶり、防災に取り組む基本姿勢や考え方などの情報発信を通じて、各組織が互いに学び合いながら防災力・減災力の向上につなげていきたいと思います。

今月号は、海に面した後背地に文旦、小夏畑が広がる市内西部の宇須々木自主防災会が実施経験した防災訓練(土砂災害)の計画とその成果について概要を紹介します。

○科目 土砂災害

○目的

県総合防災訓練に参加し、集中豪雨などを想定した一部地区住民の避難実動訓練を実施するとともに、自主防災会本部の基本的機能を演練して地区防災力の向上を図る。

○時間配分

本部機能訓練…50分
避難実動訓練…30分

○場所

宇須々木公民館小会議室および公民館近傍地域

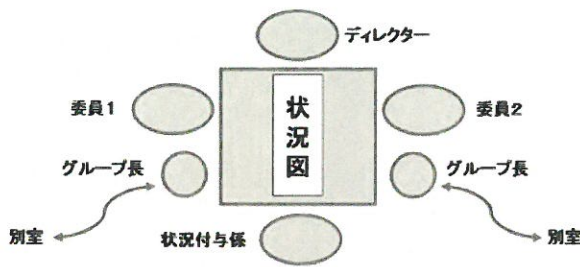
○参加人員

防災会執行部(委員11名)、防災会の代表2個グループ(約40名)

○訓練の概要

(1) 土砂災害危険区域に崩落などの危険性が徐々に高まっていく段階

防災会執行部に求められる本部機能(業務)を、「大型の地図(状況図)」を挟んで図上訓練方式(MM)で基礎的に演練する。



【MM(Map:地図 Maneuver:演習)会場の配置イメージ】



①ディレクター(防災会長)

訓練の全般統制および訓練内容の指導

②状況付与係(防災副会長)

状況付与カード作成、状況付与(3つの状況を与える)

③災害予兆の早期把握

行政との連携(情報共有)促進

④宇須々木地区独自の「危険地域避難準備情報」発

出対応

⑤本部委員(総務情報担当)

事象変化の把握(記録・整理)、状況図への展開、報告準備

⑥グループ長

委員の実務補助(危険の急迫度に応じ重点的に)

(2) 上記の危険性が切迫してきており、指定避難場所に避難する段階

避難時の災害時要援護者に対する基礎的避難活動を含め実動訓練を実施する。

「宇須々木地区危険地域避難勧告」の発出

避難行動の開始

ポイント!

地区の自主的避難(行政の指示を待たず、独自判断で主体的に)

○明示事項

避難が必要な地域、避難する理由、避難先(場所)、避難実施上の注意事項(携行物品など)、隣組を単位とする避難時の相互支援協力

○教訓事項

あらゆる業務において、本MM方式でシナリオ確認やロールプレイによる問題点の洗い出し(対策・処置)などに活用していきたい。

宇須々木自主防災会

会長 河野典生

消防コーナー

平成26年宿毛市消防出初式

1月5日、宿毛市総合社会福祉センター駐車場において、宿毛市消防団・消防団音楽隊・女性消防隊・宿毛消防署が一堂に会し消防出初式が開催されました。



式典では市長、団長による訓辞や永年勤続表彰・優良団員表彰、模範ポンプ操法などが行われ、終了後には消防団による市内パレードと松田川河戸堰での一斉放水が行われました。